

第 4 次産業革命のネクストフェーズに向けて

(デジタル・トランスフォーメーション、PPP/PFI トランスフォーメーション)

未来投資会議 構造改革徹底推進会合
「第 4 次産業革命」会合 会長 竹中平蔵

第 4 次産業革命・ソサイエティ 5.0 の次のフェーズへ世界各国は凄まじい競争。
昨年の成長政略：ビッグデータの官民司令塔、規制のサンドボックス、リカレント教育=>今年の主要政策は？

1 第 4 次産業革命の成果を国民が直接実感できるような、「基幹プロジェクト」

(1) 「移動革命」

自動走行事業化を見据えた公道での実証、そのための「制度整備大綱」

(2) 利用者目線に立った行政のデジタル化

イギリスの Tell Us Once など、手続きのワンストップ化

「デジタル・ファースト一括法案」：添付書類、押印、対面義務の原則撤廃を目指す

(3) マイナンバー制度の大幅な改革

デジタル時代の究極の社会インフラは個人認証

スマホ搭載、ふりがな問題など

インドの事例

2 コンセッションの一層の拡大

北海道内 7 空港のコンセッション：世界的に注目

引き続き空港、道路、上下水道などでのプロジェクトを発掘・組成する必要

新しい成長分野としての林業：林業成長産業化のため、国有林での使用収益権

(長期・大ロットの木材伐採・販売権)を創出する。林野庁と内閣府で検討し、次期通常国会で法制化する(コンセッション制度を国有林で活用できないか?)

成果連動型民間委託契約の国・自治体での普及を促進する

3 改革を進める体制・仕組の強化

真の工程管理：what, when + who, how

民間の人的資源活用：責任ある立場での民間人登用

専門人材による体制強化

以上